

8/21

稲核町会

花火大会



夏の夜空に大輪の花が咲きました

8月21日(土)の夜、20数年ぶりとなる打上花火大会を開催しました。

ただ、過去の打上花火は小規模なものであり、今回のような本格的な打上花火は初めての試みでした。

コロナ禍の中、昨年は夏祭りがやむなく中止となり、今年こそはとの想いで例年どおりの夜店出店や盆踊り大会を考えておりましたが、コロナ収束の兆しが見えないばかりか、オリンピック後の急速な感染拡大により断念せざるを得ませんでした。

しかし、昨年から各公民館行事が相次いで中止となっており、公民館活動は「地域の皆さんが喜ぶことを考える」役員も「楽しむことを考える」という事を常々考えており、なんとか町会を元気づける催し(イベント等)はないものかと、公民館運営委員とともに知恵を出し合い、コロナ退散:との願いも込めた夏祭りにしようと、この花火大会を企画しました。

●安曇地区●	697世帯
男女	688人
合計	685人
合計	1373人
R3.9.1現在	

ただ、花火見物で大勢の方が密集しては感染のリスクがあるため、町内の各ご家庭から見る事ができる打上場所をお願いした花火店の方と一緒に選定し、ご自宅の庭等で鑑賞していただくように、事前に町会の皆さんへお願いをしました。当初は8月14日の例年の夏祭りの日に実施予定でしたが、なんと当日は警戒レベル4「避難指示」が町会にも出され、「避難指示の最中に打上花火はとてできないだろう」と中止も検討しましたが、子供やお年寄りはじめとする町会の皆さんが、とても楽しみにしていた

花火大会なので一週間延期して開催する事になりました。さて、当日は稲核の狭い谷間に響き渡る大音響とともに、40発の色とりどりの大輪が夜空を見事に彩り、フィナーレを飾るスターメインと、この日の最大の大輪が開いた時の感動は、忘れることができない最高の夏の思い出となりました。

また、打ち上げ終了直後から、私のLINEへ「最高だったよ」「いい企画ありがとう」「役員の皆さんに感謝感謝です」等々のメッセージがひっきりなしに届き、運営にあたった役員一同とともに、この喜びを共有することができました。

わずか20分ほどの短い時間でしたが、コロナ禍で気持ちも沈みがちだった皆さんの心の中に、綺麗な大輪が花開いた夏の夜でした。

稲核町内公民館 平田正恒

番所
サプライズ花火
8/15
今年も打ち上げられました。



大野川区

岩魚つかみ

7/29

7月29日、乗鞍高原にて子ども会の行事として岩魚つかみを実施しました。

昔から続いていた地域の行事ですが、いつからか途絶えてしまい、自分が子供の頃楽しかった体験を今の子どもたちやパパママたちにも味わって欲しいという気持ちで動き始めました。いざやるとなると草刈りが必要だったり天候が気掛かりになったりしましたが、地元大野川区町会と安曇漁業協同組合から「地元の子どものために使つて」と補助金をいただき、川幅を見て、必要な網を買ってきてくれる方がいたり、岩魚を留める網を上流と下流に張る作業を地元の先輩方が手伝ってくださったり、当日は早朝から森の子養業様がイキの良い岩魚を運んで来て下さって、子どもたちの声が響き渡る賑やかな川辺となりました。多くの方々の「厚意」とご協力のおかげで、子どもたちの最高の笑顔を見ることができました。ありがとうございました。

温が上がっていることを実感し、温暖化の影響に危機感も感じています。地元の子どもが地元で遊び、足下の大自然を楽しむ事によって、恵まれた環境を大切にすることが生きたら良いなと思います。この行事が地区の行事として続くと良いなと願っています。

齊藤真弓

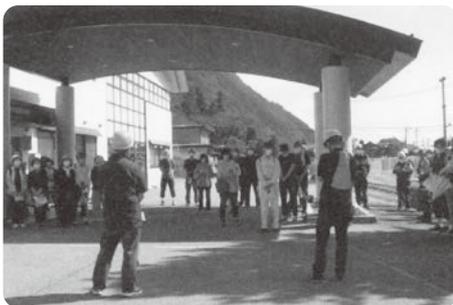


やった～!! 岩魚ゲットしました～!

大野田町会

防災訓練

8/29



自宅から保健福祉センターまで避難する訓練をしました。約60名が参加しました。

大野川小

じょうほう

登山・キャンプの思い出

大野川小学校 五年 平林凜空

ぼくが登山・キャンプをして心に残ったことは下山するときのことです。

一つ目は、雪のある所で、登山ぐつでスキーみたいに下りてきたことです。ぼくはスキーをしてすべっている間、一回転やジャンプなどをして遊びながら下りてきました。

二つ目は、ガイドさんの話を聞いたときのみんなの反応です。それは、「何回も登山をしている人がいて、ある時山道に積まれている光るきれいな石を見つけて、その石を家に持ち帰りました。その夜、金しぼりにあい、



「石を返せ、石を返せ…」と聞かされたので、元の場所に石を返しに行ったまま、今も帰ってきていない。」という話でした。みんなはその話を聞くと、登りのときに拾ってきた石をすてたり、他の人のリュックに入れたりする人もいて、こわくなったのかなど思いました。

安曇小中学校

元気な安曇っこ

一学期がんばったこと 二学期がんばりたいこと

安曇小学校 五年 大城花凜

私が、一学期にがんばったことは、二つあります。一つ目は、七月の乗くら登山・キャンプです。その中でもとくにがんばったのは、登山です。理由はまず本かてきな三千メートル級の山はやったことがなかったことと、登り始める時は、雨もけっこうふっていたし、登っている間は、風がものすごく強かったからです。なので、これからのいるいな山に登るけど、雨とか風にまけずに、楽に登りたいなと思いました。

二つ目は、プールでの平泳ぎです。理由は、手と足のリズムと足のかく時の角度がむずかしいからです。だから、来年は手と足のリズムをとると、足で水をかくときの角度を知れるようになりたいです。

それにつづいて、二学期の目標を、漢字一文字で表すと、楽しむの「楽」という漢字です。理由は、二学期には、安曇祭などの行事があるから、安曇祭でたとえると、これからの音楽で、

二学期の目標

安曇中学校 一年 大野亜聡

僕は二学期のはじめに、次の二つの目標を立てました。一つ目は、テストの点を上げたい、二つ目は、生徒会で自分の出来ることを積極的にやってみよう。この二つです。

まず一つ目の目標についてですが、一年生の時のテストよりも中間テストの合計点は、上がりましたが、期末テストではいつもより低い点になってしまいました。この結果



たくさん練習して、安曇祭までにかんぺきにして「だいじょうぶかな、まちがえないかな」とか思わないで、楽しめるようにしたいからです。そのためには、さつきも言ったけど、これからの音楽の時間で、たくさん練習して、本番がこわくならないように練習したいです。

このようなことから、たくさん行事があるけど、行事全部を楽しみたいです。

果に対して、僕なりに振り返ってみると、テスト勉強はもちろんです。普段の授業をどのくらい理解出来ているかが大事だと思えました。一学期の授業では、分からないところをあやふやにしていきました。毎日の積み重ねが結果につながるので、二学期は、まず授業中に分かるという気持ちを持って取り組みたいと思います。テスト勉強については、まちがった問題は、出来るまで繰り返しやっていきたいです。

二つ目は生徒会についての目標です。一学期に僕はサッカーでケガをして、手術を受け、何回か通院していました。この結果、学校を休んだり、早退したりする日が続いたので、生徒会の時間に出られないことがあり、前向きに生徒会活動に取り組みませんでした。二学期には、安曇祭があります。一・二年生を引っ張ってくれている三年生をサポートしつつ、学級長会としてできることや、人手に困っている所を手伝っていきたいと思います。そのためにも、クラスや一年生、三年生とたくさんコミュニケーションをとってきたいです。

以上のことを達成できるように、一学期より充実した学校生活を送りたいです。